

支部ニュース

STR E E T

Vol.357 2026年(令和8年)1月7日発刊

発行者 一般社団法人 北海道建築士会札幌支部 中央区大通西5 大五ビル 6F

TEL:011-232-1843 / FAX:011-222-0924 E-mail:hksj@h-ab.com <http://h-ab.com/sapporo/>

🎍 あけましておめでとうございます。本年もどうぞ よろしくお願ひ申し上げます。🎍

« 本部からのご報告 »

☆令和7年度 北海道社会貢献賞（防災功労者）の受賞！

北海道石狩振興局 地域創生部危機対策室さまのご推薦により、建築士会札幌支部が受賞致しました。
功績概要：昭和39年支部設立。平成27年以降、建築士の専門知識を生かした実践的防災知識を住民
に対し教育・啓蒙を行うなど、北海道の防災教育の普及・啓発に貢献し表彰される。

活動内容：机上訓練【震災建築物応急危険度判定士認定講習を実施（札幌市・江別市・当別町）】

災害時の危険度判定連携で協定締結【平成28年 札幌市と締結】

【令和6年 江別市と締結】

【令和7年 当別町と締結】

防災イベントへ参加【ほっかいどう住宅フェアブース出展参加(R4.9.16)】

【江別市総合訓練企業ブースへ出展(R6.8.3)】

【北の国災害サポートチーム研修会にて講師参加(R7.7.23)】

授賞式：令和7年12月19日 北海道庁本庁舎3階 知事会議室にて執り行われました。

道庁代表：副知事 濱坂真一氏

支部代表：牛田副支部長・新海委員長・伊藤本部事務局長・小町支部事務局長



濱坂副知事より牛田副支部長へ授与



受賞参加者一同にて

« 事業委員会からのお知らせ »

☆ピーエス株式会社北海道支店 PSKハウス・PS マダガスカル見学会のご案内

(冷暖房・加湿・除湿 機器メーカー)

※CPD認定プログラム(2単位)申請中

■日 時：令和8年1月17日(土) 14:00～16:00

■集合場所(見学場所1)：ピーエス株式会社 PSKハウス(北広島市輝美町8-8)

■終了場所(見学場所2)：ピーエス株式会社北海道支店内 PS マダガスカル(北広島市共栄41-3)

■定 員：15名 程度

■締 切：令和8年1月9日(金)

■参 加 費：無料

詳しくはフライヤーをご参照下さい。

https://drive.google.com/file/d/1oR7b0Gy_d7r-UJdEPVhWy-gVj-KyHx2x/view?usp=sharing

※PS Kハウスでは駐車場に限りがございます。

お車でお越しの際は、できるだけ台数を控えていただければと思います。

« クラブ活動からのお知らせ »

☆札幌支部クラブ活動の報告

- ・**グルメの会** 第8回は、今年2月に和食の予定です。 ご一緒にどうですか？
- ・**ボウリング部** 12/6(土)の支部ボウリング大会で1位はボウリング部が奪取しました。
- ・**カーリングコン部** 12/6(土)「江別大会」の結果は、予選リーグ3-0で通過しましたが、惜しくも決勝トーナメント1回戦敗退。
道協会例会は、1/24(土)13:00~、1/31(木)13:00~「かでる2・7」です。
- ・**登山、ハイキング部** 1月に新年会を予定しています。
- ・**そば部** 第4回 手打ちそば講習は、今年の秋に延期致しました。
- ・**映画鑑賞部** 11/29(土)「ロストエモーション」を鑑賞、参加6名。次回は3月に「？」
- ・**ダーツ部** 次回は2/25(水)を予定。
- ・**発酵食品** 11/22(土) 第1回例会を開催し、ニシン漬けを作りました。(写真参照)
- ・**作るぞークラブ** 第2回は2月に「味噌づくり」です。

【カーリングコン部】



【ボウリング部】

☆皆様も士会仲間でクラブ活動しませんか！参加者随時募集中

下記 HP から参加票にて事務局までお申し込みください。

クラブ活動のページへ

<https://h-ab.com/sapporo/about/sapporo-club.html>

« 一般社団法人北海道建築指導センターからのお知らせ »

☆『令和7年度 北方型住宅技術講習会のお知らせ』

- 日 時：令和8年2月4日（水）13:30～16:00
- 定 員：対面60名・Zoom200名 ■参 加 費：無料
- 会 場：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前 5F ホール5G
(札幌市中央区北4条西6-1毎日札幌会館5階)
- 概 要：「北方型住宅技術講習会」は、住宅建設に携わる技術者の専門知識の習得や技術力の向上により、良質な住宅ストックの形成を図ることを目的として実施しているところです。今年度は、リフォームの話題を中心に講習会を実施します。また、道、住宅金融支援機構、北海道建築指導センターからは、最新情報を提供する内容で講習会を行います。
- 講 師：
 1. (一社)日本住宅リフォーム産業協会副会長 新谷孝秀氏
 2. (地独)北海道立総合研究機構建築研究本部 職員
 3. 北海道建設部住宅局建築指導課 職員
北海道水産林務部林務局林業木材課 職員
 4. (独)住宅金融支援機構北海道支店 職員
 5. (一財)北海道建築指導センター 職員
- 主 催：北海道、(一財)北海道建築指導センター
- お問合せ：(一財)北海道建築指導センター 企画総務課 TEL 011-241-1893
- 申し込み方法：各専用フォームにてお申し込みください。
(一財)北海道建築指導センターホームページ 案内チラシ掲載
受付開始：令和8年1月9日(金)～
- ホームページはこちらから↓
[一般財団法人北海道建築指導センター](http://www.hab.or.jp/)

« 日本建築士会連合会からのお知らせ »

☆第67回 建築士会全国大会「おおさか大会」交流セッション動画をアーカイブ配信開始！

下記 URL より各委員会セッションの動画をご覧いただけます。

<https://kenchikushikai.or.jp/torikumi/zenkokutaikai/67th-osaka/index.html>

« 日本建築防災協会からのお知らせ »

☆建築確認申請の作成支援について

建築確認審査の円滑化を図るため、建築確認申請図書の作成時の不備を減らすことを目的として、AI を活用した建築確認申請図書の事前チェックサービスの提供を開始します。

令和7年4月の改正建築基準法の施行により、2階建て木造一戸建て住宅などの建築確認手続き等見直されたことに伴い、設計者等による確認申請図書の作成実務も大きく変わりました。

今般、当協会が国の支援を受けて「建築確認申請図書作成支援サービス」を構築し、サービスの提供を開始することとなりました。

本サービスは、建築確認申請図書において記載が必要な事項のうち主要な事項について、申請予定図書等における記載の有無を AI が評価するものです。

本サービスの利用を通じ、申請予定者が確認申請の前に申請予定図書が適切に作成されているかの自己チェックを可能とすることで、申請図書の不備を削減し、建築確認審査の円滑化を図ります。

リンク先→ <https://www.kenchiku-bosai.or.jp/kenchikukakunin/>

« 本部より »

☆北海道建築士会ホームページ “会員専用ページ” でオンデマンド配信中！

視聴方法 : 北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

1月パスワード : 【 Chi063 】

『失敗から学ぶ』 VOL44 《監理者の工程管理》 ●

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

■はじめに

現場は定期的な工程会議で工事の進捗状況を確認して現場の運営をします。

事例としては週間定例会議で1週間毎の工程進捗状況の確認、月間定例会議で月間工程・全体実施工程の進捗状況を確認します。遅延等があれば原因を確認し回復の対策を協議して実行するのが一般的です。

■全体実施工程表に完了時の諸検査日程が記載されていない

着工時に提出された全体実施工程表に完了時の諸検査日程が考慮されていなかった。

※完成時の諸検査は受注者社内検査、監理者完成検査、消防署長完了検査、建築主事完了検査、発注者完了検査、是正完了検査が一般的で2週間程度の日程が必要です。

そのほか全体実施工程表には給水日、受電日、試運転調整、総合連動試験などを記載し関係者で共有が重要です。

また主たるマイルストーン（中間目標地点）を設定し工事に遅れが出ないように進捗管理します。

■全体実施工程表に進捗ライン（計画）及び出来高（実績）の記載がない

着工時に提出された全体実施工程表に進捗ライン（計画）及び出来高（実績）の記載がないので工事の遅延に気が付くのが遅れた。

※毎月の定例会議で進捗状況を確認・共有し遅れが生じた場合は遅れを回復する対策の確認が必要です。全体実施工程表に進捗ライン（計画と実績）及び出来高%（計画と実績）を記載し、見える化することが必須です。また、全体実施工程表に変更や調整が生じた場合は随時更新し関係者の共有が必要です。竣工引き渡し日が変更になる場合は契約変更等が必要になります。

■週間工程の実績が確認できない

毎週の週間定例会議で先週の工程（計画と実績）を確認せずに翌週の計画のみ確認して工事を進めたら工事の遅延に気が付くのが遅れた。

※毎週の週間工程会議で先週の工程計画がどうなったか実績を確認しながら工事を進めないと工事遅延の早期発見が遅れます。翌週のみの工程確認では先週の工事の遅れが確認できないので手間がかかりますが計画の結果を実績として確認しながら工事を進めるのが工程管理のポイントです。

自習型認定研修の設問



設問 1

全体実施工程管理で正しいのはどれか？

- a. 全体実施工程の管理は受注者（施工者）が把握していればよい。
- b. 請負契約時の全体実施工程は変更できない。
- c. 全体実施工程管理は発注者、受注者、監理者で共有して進める。

設問 2

週間工程管理で正しいのはどれか？

- a. 毎週の定例会議で次週の工程を確認し共有して進める。
- b. 工程管理は計画と実績を確認しながら進めると合理的に管理できる。
- c. 過ぎた先週の工程の進捗は確認する必要はない。

認定教材の設問への回答は、

CPD情報システムのページ

<https://jaeic-cpd.jp/>
にアクセスのうえ、お願いします。

※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。